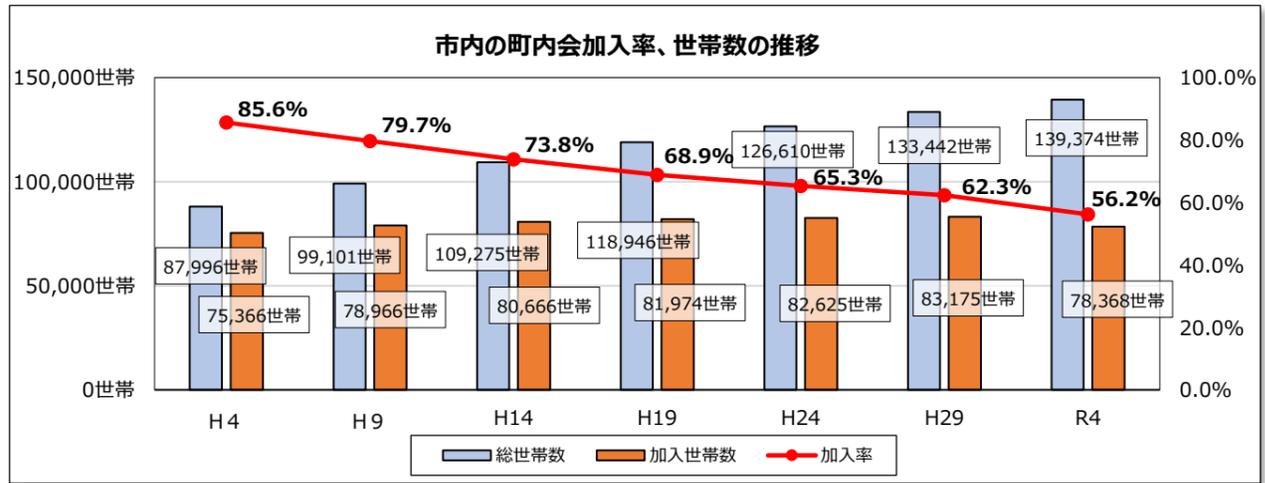


① 町内会活動の現状と課題

本市には、大小 500 以上の区・町内会・自治会があり、それぞれ地域の实情に即して、情報共有や行政との連絡、環境の美化、防犯灯の維持管理、災害に備えた地域のつながりなど、住みよいまちにするための活動を行っている。

町内会は住民が主体的に組織した任意団体であるものの、よりよいまちづくりを行うための公共的な役割を担っており、行政や各種団体、関係機関等と連携・協力し、協働のまちづくりを進めてきた。

近年、ライフスタイルの変化や価値観の多様化などにより、平成4年(1992年)には85.6%であった町内会加入率は、令和4年(2022年)には56.2%と大きく減少している。役員を担う人や活動に参加する人の減少、地域の関係性の希薄化などさまざまな課題により、活動の継続が危惧されている。



町内会活動における課題 (R4 アンケートより)

町内会が思う課題		市民が思う課題			
順位	課題	割合	順位	課題	割合
1	役員のなり手がいない	49.6%	1	会員・役員の高齢化	60.5%
2	高齢化により活動に支障が出ている	38.5%	2	役員の負担が大きい	54.4%
3	役員の負担が大きい	33.7%	3	町内会未加入者との不公平感	37.6%

《主な委員意見等》

- ・ 役員に対する負担感があり、役員が回ってくると退会してしまう
- ・ 非会員(フリーライダー)がいることを考慮する必要がある
- ・ 市民に対して町内会活動の必要性、加入の意義が周知されていない
- ・ デジタル化は便利ではあるが、対応できない人もいることから、慎重に行うべき

② 町内会活動の意義

町内会は、地域コミュニティで活動する各種団体の中心として、地域に住むひとりひとりの「地域の安心・安全」「暮らしやすさの向上」のために活動する重要な団体である。

団体の世帯規模やこれまでの経緯など、地域の状況によってその活動内容は異なるものの、町内会は地域コミュニティを包括的に支え合うための重要な組織である。

【町内会の意義と取り組み例】

住みよい環境づくり
地域の清掃・美化活動、ごみステーションの管理(※)、近所の親睦・顔の見える関係づくり
協働のまちづくり
地域の意見の集約、情報共有、住民間の連絡調整
いざという時のための基盤づくり
地域の防災訓練、防犯灯の設置、交通安全、子ども・高齢者の見守り

※ ごみステーションについて、住みよいまちづくりのためには、町内会と利用者による清掃活動が必要不可欠です。市としましても、町内会の負担軽減のため、ごみ収集にあたる作業員による清潔保持に引き続き努めます。また、今後、未加入世帯に対し、広報やチラシ等によるごみ出しの注意喚起を行います。

③ 目指すべき目標

地域に住む全ての人々が活動に参加・協力できるよう、各主体がそれぞれの取り組みを行う必要があるが、一方で、加入率減少、これまで活動を担っていた方の高齢化、女性の社会進出、少子化等、社会情勢やライフスタイルの変化などにより、これまで町内会が行ってきた事業をそのまま実施することは困難になる。

町内会の現状と課題を踏まえ、**市民・町内会・市が共通認識を持ち、互いの役割と責務を自覚し、連携してまちづくりを進める**ため、次の目標を掲げる。

➡ **持続可能な町内会活動の実現**